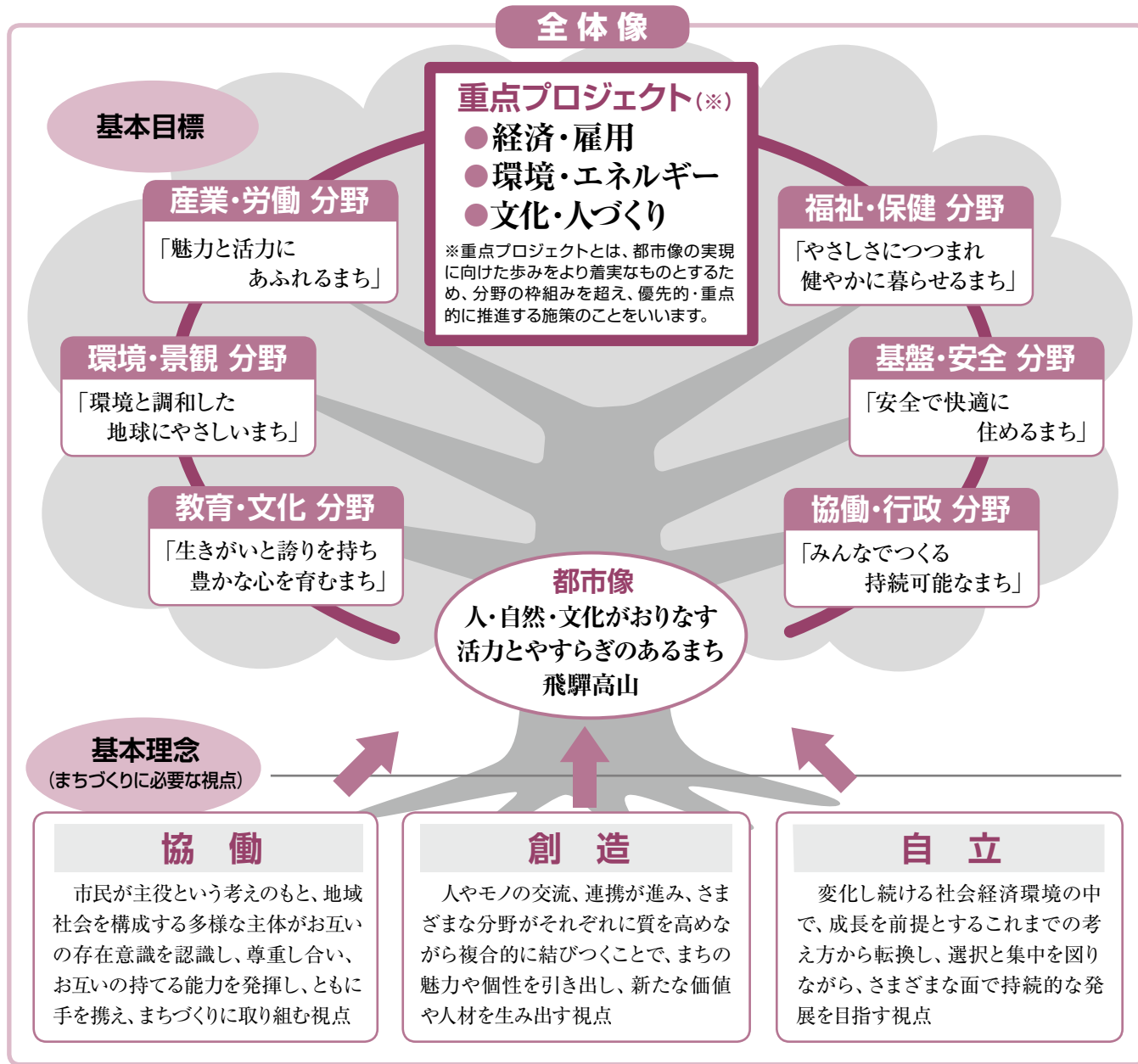


都市像  
(本市の将来の  
あるべき姿)

# 人・自然・文化がおりなす 活力とやすらぎのあるまち 飛驒高山

本市が誇る魅力、財産である「人」「自然」「文化」がさまざまな形で組み合わせ、活かし合うことにより、新たな活力や元気が生まれ、やすらぎや幸せが感じられるまちになることを将来の姿として描きます。



## 時代の潮流(市をとりまく社会情勢)

人口減少、少子高齢化が本格的に進展しています

経済環境が大きく変化しています

環境、エネルギー問題が顕在化しています

人々の安全、安心意識が高まっています

人々の価値観やライフスタイルが多様化しています

地方をとりまく財政状況が深刻化しています

# 第八次総合計画 基本計画素案がまとまりました



●総合計画とは…

総合計画は、長期的な視点から市の将来の姿を描きながら、その実現に向けて計画的な行政運営を行うため、まちづくりの方向性を総合的、体系的にまとめたもので、市の最上位計画として市政運営のもっとも基本となる指針です。

市では、平成27年度から10年間のまちづくりの指針となる第八次総合計画の策定を進めており、このたび、その基本計画の素案がまとまりました。

素案の策定にあたっては、市民と市長の対話集会やまちづくり市民アンケートなどを通じ、今後のまちづくりに関するさまざまなご意見・ご提案をいただきながら進めてきました。

今後は、素案に対する市民意見募集や総合計画審議会を経た後、議会上程していくこととなります。

将来にわたって「住んでいてよかった」「これからも住み続けたい」と思えるようなまちを目指して、引き続き、市民の皆様とともに新たな総合計画の策定に取り組んでいきます。



### 産業・労働 分野

生活基盤となる産業を活性化させ、誰もが仕事と生活の調和のとれた安定した生活を送ることができる「魅力と活力にあふれるまち」を目指します。

#### 【主な取り組み】

- 観光・商工業と農林畜産業が連携した国内外への誘客活動や宣伝・販売促進活動の推進
- 起業家の包括的な支援体制の強化
- 伝統産業や農林畜産業における後継者や担い手の育成・確保
- 飛騨牛・高冷地野菜・米などブランド力のある産地産品づくりの推進
- 住宅建設をはじめとする木材需要の拡大
- 仕事と家庭が両立できる環境整備の促進
- UIターン就職者への支援などによる若者の地元定着の促進



### 福祉・保健 分野

福祉・保健・医療の連携のもと、地域における支え合いの仕組みが整い、誰もが生涯を通じて健康な生活を送ることができる「やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち」を目指します。

#### 【主な取り組み】

- 地域活動組織と連携した地域福祉体制の整備
- 基幹となる相談支援機能の確立
- 高齢者の経験や能力を活かす体制づくりの推進
- 安心して子育てができる環境の整備
- 生活困窮者や障がい者の生活の自立に向けた支援
- 心身の健康づくりへの支援
- 地域医療体制や救急医療体制の充実



### 環境・景観 分野

環境の保全と活用のバランスに十分配慮し、地球への負荷を減らしたまちづくりに取り組む「環境と調和した地球にやさしいまち」を目指します。

#### 【主な取り組み】

- 身近な自然環境や生物多様性の保全
- 省エネルギー活動の推進などによる低炭素社会の形成
- 自然のエネルギーを活かしたまちづくりの推進
- 新たな火葬場やごみ焼却施設の整備
- 歴史的町並み、農山村景観、自然景観の保全



### 基盤・安全 分野

良好な都市基盤を整備し、災害・事故・犯罪などの危険から生命や財産を守り、誰もが便利で安心した生活を送ることができる「安全で快適に住めるまち」を目指します。

#### 【主な取り組み】

- 道路構造物や水道施設などの耐震化・長寿命化の推進
- 自主運行バスなどの地域公共交通の利便性の向上
- 住宅の耐震化やユニバーサルデザイン化の促進
- 避難行動要支援者(※)の支援強化などによる地域の防災力の強化
- 交通事故・消費トラブルの防止や防犯体制の強化
- 消防団の加入促進や消防団活動の充実



※避難行動要支援者とは、災害が発生した時などに自ら非難することが困難で、特に支援が必要な人のことをいいます。

### 教育・文化 分野

子どもからお年寄りまでそれぞれのライフステージにおいて、さまざまな教育・文化活動を通じ、心身ともに充実した生活を送ることができる「生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち」を目指します。

#### 【主な取り組み】

- 自ら学び考える力の育つ教育の推進
- 地域と協働した郷土教育の推進
- 生涯学習成果の活用の促進
- 健康増進のためのスポーツ活動や競技スポーツ活動の充実
- 文化芸術が薫るまちづくりの推進
- 歴史文化に親しみ理解する機会の充実



### 協働・行政 分野

市民と行政が良きパートナーとしてそれぞれの役割を理解し、連携しながら将来にわたって発展するまちづくりに取り組む「みんなでつくる持続可能なまち」を目指します。

#### 【主な取り組み】

- 協働のまちづくり(※)の推進
- 市民の声や意見を聴く機会の充実と施策等への反映
- 国内外の姉妹・友好都市などとのさまざまな分野における交流の推進
- 総合的な支援による移住の促進
- 公共施設の総合的・計画的な管理の推進
- 予算の重点化・効率化による財政の健全性の確保



※協働のまちづくりとは、市民が主役という理念のもと、市民、地域住民組織、事業者、行政などの地域社会を構成する多様な主体が、お互いの存在意義を認識し、尊重し合い、お互いの持てる能力を発揮し、ともに手を携え、地域に住み続けたいという思いを育てるまちづくりのことをいいます。

ご利用ください!

## 出前講座

総合計画やまちづくりの現状などについて、地域や職場、学校などにお伺いし説明をさせていただきます。  
会社や町内会などいろいろなグループで、お気軽にご利用ください。

申込 企画課総合計画策定室  
問合せ ☎35-3131

## 基本計画素案に対するご意見をお寄せください

市では、基本計画素案に対するパブリックコメント(市民意見の募集)を行います。ぜひみなさんのご意見をお寄せください。

#### 市ホームページ

<http://www.city.takayama.lg.jp/kikaku/sougoukeikakusakuteisitu.html>

#### 閲覧場所 (※休館日を除く各施設の開館時間)

市役所本庁(企画課(4階)、市民コーナー(1階))、各支所、市図書館「煥章館」、市民文化会館、ビッグアリーナ

#### 意見の提出方法

所定の様式(閲覧場所に備え付け)に意見などを記入のうえ、8月13日(水)までに 郵送・FAX・MAIL・持参

#### 問合せ先

企画課総合計画策定室 ☎35-3131 FAX 35-3174  
Mail: kikaku@city.takayama.lg.jp

## 10年後の高山市の人口は?

本市の人口は、計画初年度の平成27年に9万人を割り込み、計画期間中は年間800人程度の減少が見込まれます。

生産年齢人口は、平成22年と比べ、1万人以上減少し、労働人口の減少に伴う産業構造の変化、経済活動の縮小、税収の減少などの影響が予想されます。

老年人口は、平成22年と比べ、約3,200人増加し、3人に1人以上が高齢者となります。医療、介護、年金などといった社会保障経費の増大などの影響が予想されます。

